

<一般質問> ◎くらしよし倉吉スカイ作戦（２）  
「住み続けたい、帰りたい、行ってみたい」まち

<保育> ① ①

① 住み続けたいまち倉吉 についてです。

次の点についてお尋ねします。

- 周辺の町、例えば湯梨浜町と比較して保育料は高いですか、安いですか？  
高い場合、低い方にあわせるとどのくらいの財政負担を伴いますか？

◎ 若干高い。約 2000 万円程度かかる。(市長)

● 保育士の数について、鳥取県児童福祉施設に関する条例で定めてあるとのことですが、具体的にはどのようになっていますか。また、倉吉市の公立の保育所の実態と課題だと考えておられることがあれば教えてください。

◎ 0 歳児(未満児)は児童 3 人につき保育士 1 人、1・2 歳児は 6 人につき 1 人、3 歳児 は 20 人につき 1 人、4 歳児以上は 30 人につき 1 人となっている。

考え方としては、3 歳児以上については出来るだけ正規職員、0 歳児については経験豊かな臨時職員を充てている。正規職員と臨時職員(パート)の割合は 3 対 7 である。決して良好な状態ではない。民間(保育所)は 5 割が正規職員で、民間に比べても低い。全国的に見ても保育士不足となっている。努力したい。(市長)

<保育> ② ② <ハード面・学校再編> ① ③

保育料は、子育て世代にとって大きな問題です。確かに、保育料の安さを競っている場合ではありませんが、保育料が高いという理由で、実際に周辺他町に転居されている方があります。

- 周辺町並みの保育料について検討する必要があると思います。如何ですか。

◎ 例えば、先ほど出たふるさと納税の活用なども含めて保育料の軽減を図ることで、若者(子育て)世代の流出を防ぐことが大切。一度減免をすると(保育料を)あげることが出来ない。財政問題を考えながら判断していきたい。倉吉が下げると周辺も下げる、たちまちごっこになってしまう。国の基準そのものを議論していただく必要がある。1 市 4 町だけで解決できることではない。合計特殊出生率をあげることが大切。(市長)

● 職員の勤務実態についてです。再編によって、職員の適正配置が少しでも解決できるのであれば、再編を進めて行くべきだと考えます。いかがですか。

◎ 再編にあたっては、このことも主旨に入れている。地域の皆さんの理解を得ながら進めていきたい。(市長)

次に教育長に教育環境の整備、ハード面と学校再編についてお聞きします。

3 点お聞きします。

① 普通教室のエアコンの導入計画について。これは、小学校 PTA 連合会の要望事項でもあります。議会答弁では「エアコンについては順次実施」とのことでしたが、どのように考えられておられますか。

◎ 平成 26 年度、小学校で 35%、中学校で 27%、全体で 32% である。国の

交付金などを活用、まず、特別支援教室を優先的に進める。普通教室については学校の状況に応じて考えていきたい。(教育長)

②オープンスペースを有する学校で、教室と廊下の間仕切りがないのは河北小学校だけとなります。間仕切りについて設置予定はどうなっていますか？

◎平成29年度以降となる。(教育長)

③学校再編の説明会の折、久米中学校に行きました。来客用トイレが古い和式のものしかなく驚きました。教室棟のトイレとあわせて管理棟のトイレ、特に来客用のトイレは大切だと思います。トイレの洋式化計画はどうなっていますか。

◎小学校で38%、中学校で49%である。久米中のトイレについても承知している。国の補助金なども考えながら進めていきたい。(教育長)

学校再編についてです。当初予定していた質問、

①説明会のねらい ②参加者数 ③アンケート結果から分かること ④今後のスケジュールについては、昨日の質問で大体理解しましたが、付け加えなどありましたらお願いします。

●結局、個別な案件についての方針はおおよそ固まった上で、確認のための会、教育振興基本計画に学校再編を入れる準備のための会という捉えでよいですね。

◎そういった面も持っている。また、個別に話を聞きたいというところには、個別に出かけていってお話をし、まとめていきたい。(教育長)

<ハード面・学校再編> ② ④

●河北小学校の間仕切りについては、早急な取組が必要ではないですか。先だっの研究会の時、教育長と一緒に河北小学校で子供達の様子を見ました。河北小学校は、本当に落ち着いた環境になっていますか？子供達にとってよい環境ですか？仕切りがないのは市内の学校で河北小学校だけです。教育環境の平等という点からもこれは問題ではないですか。この点についても一度答弁お願いします。

◎特に気になったのは3クラスあるところ。3つのクラスが間仕切りがないということは、このことも含めて調査はしたい。29年度以降となるが、調査は進めていきたい。(教育長)

●学校再編です。最終的に予算案件を議決するのは議会ですが、事案に対しての思い・熱意や納得できる具体的な提案をするのは行政です。市民は、その姿勢や内容を注目し、議員は、その状況・やりとりも踏まえて判断します。

今回の説明会で参加者から指摘のあったことも含め、市民への十分な説明と、はっきりとした具体的方向・施策を示していただきたいと思います。如何ですか。

◎承知している。(教育長)

<「やっかいもの」を「たからもの」に> ① ⑤

2 帰りたいまち倉吉 についてです。

有害鳥獣についてです。3点お聞きします。

①イノシシをはじめとした有害鳥獣捕獲数の実態はどうなっていますか？

◎イノシシは昨年が273頭で今年、現時点で322頭、鹿は12頭に対し17頭、ヌートリアは10頭に対し33頭で、イノシシが年々増えている。(市長)

②「中部イノシシプロジェクト」の進捗状況はどうなっていますか。

③総合戦略の中に、具体的な事業として「捕獲員確保による有害鳥獣 総合対策事業とジビエ活用支援事業」とあります。これは「中部イノシシプロジェクト」と関係があるのでしょうか。また、ビジネスチャンスだと思うのですが、事業を進めるにあたってどんな課題・困難点があると考えておられますか

◎昨年の2月にはじめて会合を持ち、今年10月までに4回開催している。会のメンバーはイノシシ牧場の徳岡さん、事務局派遣で、民間や各市町も入っている。イノシシの捕獲、奨励金、販路/販売体制、商品開発等について話し合っている。実績として、昨年4月に放牧施設が出来た。山どれイノシシ45頭でスタート、昨年の出荷は50頭。今年は250から300頭を予定している。また、販売会社などと販路などについて協議している。進めていけば、厄介ものがジビエとして活用できる。(市長)

<「やっかいもの」を「たからもの」に> **2** **6**

次に、放棄竹林についてです。3点お聞きします。

①倉吉市における「放棄竹林」の実態はどうなっていますか？

◎竹林面積は、県の林業統計によると、倉吉では平成7年度が198ヘクタール、平成26年度が385ヘクタールで倍増している。(市長)

②これまで「竹」の活用について「竹炭」「竹パウダー」等が議会でも取り上げられました。現状はどうなっていますか？

◎なかなか進んでいない。竹水は一つの団体が商品について研究を進められた。竹パウダーは撥水と倒木防止、果樹の落下数の低減、竹パウダーで害虫が果樹に付くのを防ぐ、研究を試験的に取り組まれているタケノコ振興会の学校給食への利用、タケノコそのものを利用/栽培と竹林の整備につながっていけば効果がある。竹は一度切っても生えてくる。有効活用がはかれれば竹林整備につながっていく。タケノコ振興会の取組は有効活用につながっている。(市長)

③総合戦略の中に、具体的な事業として「ギンザケ養殖、薬用作物、竹活用など中山間地産業の活性化事業」とありますが、「竹活用についてはどのようなことなのか説明をお願いします。

◎つまったものではない。今あげたものである。具体的なことについては、今後詰めていかなければならない。(市長)

<「やっかいもの」を「たからもの」に> **3** **7**

竹林の保有・生産、加工、販売の段階で市民の方も関わっておられます。こちらもビジネスチャンスです。「やっかいものを宝物に」、竹林に関しても、県や関係者・機関と協力して地域振興の目玉にできると思っておりますが如何でしょうか。

◎山に対する関心の低下がある。竹に関心を持っていただき、利活用を、市としても支援できるものがあればしていきたい。(市長)

<ロマンと魅力あふれるまち> **1** **8**

3 行ってみたいまち倉吉 についてです。

今回は、水と緑と彫刻のまちと観光の広域化・インバウンドに関連した質問をします。

2点お聞きします。

①倉吉市には、市の保有している彫刻や市保有以外にも、魅力的な彫刻があると思いますが、どこにどのようなものがありますか。

◎緑の彫刻賞作品22点、審査員の作品3点で25点、郷土ゆかりの彫刻作家作品9点など合計で38点ある。(教育長)

②これらの彫刻を市民や全国に「水と緑と彫刻のまち」としてアピールすることが大切ではないでしょうか。特に「緑の彫刻プロムナード」については、倉吉の宝、観光ルートの一環としてきちんと整備していくことが大切だと考えますが、如何でしょうか。

◎市としても彫刻マップを作成、地区公民館などに配布している。また、博物館講座も開催している。倉吉にゆかりのある藪内さんや東京スカイツリーをつくられた澄川さんの作品もある。これらを倉吉のPRに活かしていきたい。(教育長)

次に、観光の広域化とインバウンド対応についてです。2点お聞きします。

①「とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会」を核とする鳥取県中部圏域版DMO整備実践事業について、これからどうしていくのか説明をお願いします。

◎従来から任意団体としてやってきた。しかし、旅行業の登録が出来ない、対外的にも信用が劣るなどが課題としてあった。今回の法人化で、旅行業務・プロモーションが出来るようになる。内容的には、①法人化(資格)②インバウンドの受入整備③ストップ窓口環境整備等である。(市長)

②総合戦略の中に、具体的な事業として、「とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会のDMOによる広域観光施策推進事業」とありますが、この事業における倉吉市の関わり・連携はどうなっていますか。

◎ほぼ同じである。DMO化することで、収益、財政基盤の安定/スタッフの充実が図られる。1市4町の共同事業である。(市長)

<ロマンと魅力あふれるまち> **2** **9**

県立美術館誘致の一つのアピールポイントではありませんか。

市長は、今年の3月議会で、たからや跡地観光駐車場に関連して、この彫刻プロムナードの活用について「倉吉観光MICE協会や商工会議所と一緒に考えていきたい」と答弁されています。3月議会以降具体的な動きはありましたか。あればお聞かせ下さい。

次に、「とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会」についてです。「とっとり梨

の花温泉郷」と倉吉市及び倉吉観光マイルス協会との連携、役割分担などについて3点お聞きします。

① JR 倉吉駅での観光客への案内はどうなっていますか。「とっとり梨の花」事務所は、土日休みで案内所は倉吉観光マイルス協会が対応している状況です。事務所の場所も含めて「梨の花温泉郷」の機能をもっと充実していくべきだと考えますが、如何でしょうか。

◎ JR にあるマイルス協会で倉吉だけでなく中部全体の案内をしている。梨の花は土・日・休日は休みである。今回の DMO 化によって観光の組織としての問題もある。ここの観光協会の役割と分担、効率的な機能、発展につなげて欲しい。(市長)

②インバウンド対応に於いても多くの外国人観光客が中部を訪れています。この DMO の取組を広域観光の新たなきっかけにして欲しいと考えますが、どうでしょうか。

◎その通り。アニメ、サブカルチャー、ワールドトレードカンファレンス、香港便の就航など様々なイベントの動きもある。その役割をしっかりと果たす組織にしていきたい。(市長)

③この事業に関わっては、単独市町の対応では、今後は予算や人材も膨らんでくるのが予想されます。中部全体での連携、分担、事業の精査をすることを願いたいと思いますが、如何でしょうか。

◎中部広域と通じて取り組んでいる。さらに、自分の力をつけて、努力して経営改善を図っていくことが大切。十分連携しながら取り組んでいきたい。(市長)

<「事業のより効果的なあり方」> **1** **10**

#### 4 くらしよし倉吉の維持・発展

「事業のより効果的なあり方」についてです。

2点お聞きします。

①事業の見直しのために倉吉市で取り組んでいるのはどのようなことですか？

◎事務事業の評価点検を行っている。外部ではまちづくり評価会議（限られてはいる）、予算要求段階で個々の事業の評価をしっかりとやり改善していく。今年、サマーレビューとしていつもより早い段階で行った。第2次行革プランの総括の年であり各課で事業効果の算出、振り返りや点検を行っていく。外部の行政改革懇談会で次のステップにつなげていく。(市長)

②課や部局をまたぐ事業、あるいは周辺他市町や関係機関との連携や分担による事業の展開と精査が必要ではないでしょうか。大所高所から事業を見直しをすることでムリ・ムダ・ムラをカット、スクラップできるものもあるのではないのでしょうか。

◎関係課・部での協議、調整しながら事業の効果的・効率的な運営に努めていきたい。(市長)

## <議案質疑>

### <議案第79号>

① 平成27年度一般会計補正予算、歳出、2款3項1目戸籍住民基本台帳費、2款4項3目鳥取県知事選挙費、3款1項2目国民年金費、職員手当についてです。3点お聞きします。

(1) 職員手当のうち、「時間外および休日勤務手当」がそれぞれ、240万円、53万7千円、60万3千円、合計354万円となっています。それぞれ増額補正の理由をお尋ねします。

◎マイナンバー制度の関係が大きい。その他は、精査の結果必要となったものである。(総務部長)

(2) 今回の補正で、本年度の「時間外および休日勤務手当」は9千703万円となり、1億円にもとどきそうな金額となっています。本年度の「時間外および休日勤務手当」の中で、主な内容となるものを教えて下さい。

◎国税調査に関わるもの、道路・工場の新設、発掘作業、家庭支援の関係、学校再編(校区再編の説明会など)である。臨時福祉給付金やマイナンバーに関わるものもある。(総務部長)

(3) 「時間外および休日勤務手当」のここ何年かの状況、増えているのか減っているのかについても教えて下さい。

◎平成24年7531万、平成25年7903万、平成26年8774万、平成27年9708万と年々増加している。(総務部長)

② 今回の増額補正の理由、本年度の超過勤務の主なものについてはわかりました。ここ3年間では、超過勤務が増えているということです。私も調べてみたら、数年前の2倍くらいの時間数となっています。

さて、2年前の12月議会でも、この問題を取り上げています。その時は、超過勤務にあたってのルールや業務の進捗状況や職員の健康管理のための対策等が上がっていました。

また、「ワーキンググループ」を中心とした庁風改革があったと聞いています。しかし、残念ながら実際には増えています。そこでお聞きしますが、原因と対策について考えておられることがあればお願いします。

◎職員の健康管理、今年度よりICカードを使用して入退庁の管理をしている。チームとしての対応、マネジメントを大切に考えている。ノー残業デーの取組もあるが、なかなか進んでいない。

業務の増大に伴う、業務の見直し、スクラップアンドビルド、ITの有効な活用、外部委託、適正な職員配置など。ワークライフバランス。(総務部長)

③ 超過勤務の増加は、長時間勤務による心身への影響、事務能率や労働意欲の低下、光熱水費や時間外手当の増加等いろいろな面で好ましくないと考えます。このことについては、より具体的で効果的な取組をお願いするとともに、別の機会に改めてお聞きしたいと考えます。

◎職員の健康、ワークライフバランス。、経費の削減等の観点から取り組んでいきたい。  
(総務部長)

次に、歳入、14款2項1目、総務費補助金、地方住民生活等緊急支援交付金のうち、タイプⅡ：地方版総合戦略策定を条件とする事業に対しての上乗せ交付金事業、「予約型乗り合いタクシー運行事業」700万円についてお聞きします。  
(1)デマンド型乗り合いタクシーは10月から運行とのことですが、現在の状況はどうなっていますか。また、記事によると「PR不足も」ということでしたが、どのようなPRをされたのですか。

◎登録者世帯 北谷177世帯(40%)、高城113世帯(17%)、利用者は北谷で93名、高城で29名となっている。バス路線住民の方が多い。  
PRについて、秋に両地区の自治公民間を中心に、運行方法の合いで青いただいた。また、希望のあった自治公民館には個別に説明にいった。9月にパンフレットを北谷、高城の全世帯に配布した。(企画振興部長)

(2)順調なスタートと入っていないようですが、原因として考えておられること、また、今後の対応策をお持ちでしたらお聞かせ下さい。国の交付金も出ている注目の事業です。折角の機会ですので、あわせて、この事業の概要やセールスポイントをお聞かせ下さい。

◎一番はPR不足が原因と考える。改めて12月に市報とあわせて新たな地籍を配布した。  
具体的な運行について「あるのは分かっているが、具体的にどう使ったらいいのか」といったこともあり、総合的なPRが必要だと考えている。従来から路線バスが利用できなかった地域に浸透していない。公民館の新年度総会や高齢者の集まりなどで説明を繰り返したい。ドアツードアが可能なこと、細かなサービスが出来ることも周知し、促進を図りたい。(企画振興部長)